

投稿

意見を聞かない、言わせない

企業年金説明会

この感想を感情的にならずに、冷静に伝えようと抑えようとしても、抑えられないことを、先ずはお許しいただき、ご了解いただきたい。

2時から始まった説明会は、くりかえし企業年金抜本改革として2回・3回目の冊子の内容を、繰返し(市場金利低迷で給付額減額仕方なし)ご丁寧にスライドをさしながら、どうか了解していただくしか方法がないと、長々と説明が続くばかり。その説明を2時間の制限時間内で1時間30分もかけてする始末。

そしてその説明に対する質疑応答は残り30分。始めは参加者の様子見で、挙手が3~4人、少し理解しがたい部分や、私の聞き間違いはお許しいただきたいが、覚えている範囲を記したい。

例えば、ある男性は「確定申告・税金面で、返還額が1万円、他の税金や保険料等の支払いが増えているのに、給付額を減らすのか」

また、この企業年金制度改革して給付利率を維持してほしいと、会社側提案を支持する人もいたが、大事な企業年金給付額減額を何とか止めたい、その一心で、Gさんが発言。

Gさんは「私たち企業年金受給者に、一片の謝り・お詫び・弁明もなく、退職再雇用・退職者の増加が会社の方針でやられ、当然の結果として、掛金収入の減少につながり、年金債務は以前から問題がありながら今迄そのままにしてきた。50歳超えれば社員には2割~3割の厳しい賃金カットを押し付けておきながら、なお且つ、海外投資・資金は大きな損失を出し、それでも利益を上げて株式配当できる大会社=NTTは、我々弱い者には我慢を強いるのか。責任をどう取っているのか。

既裁定者・現加入者・事業主の三者協議会の選管委員は何処でどういう風に決めるのか、その選考過程を詳しく説明してください」等々、多くのおかしなところの疑問・質問を述べると、心ある人達、100人強は参加されていたであろうか、期せずして大きな拍手が起こった。

会社は質問などに誠意を見せず、多くの挙手する質問者が出てくると、前列に陣取っていた会社側・組合側の支持者に質問させ、時間が迫ったとって(残り10分間も残っていたのに)動員さ
(2ページにつづく)

私たちは推薦します

NTT企業年金改悪反対に立ち上がっている「NTT企業年金改悪に反対する会」「NTTグループの企業年金改悪反対全国連絡会」「NTT企業年金改悪に同意しない会」の三団体は、このたびの企業年金三者協議会選挙を前に大同団結し、統一候補者を擁立しました。

西日本N関労としても、この大同団結を支持し統一候補者を推薦することを決定しました。

受給者代表委員候補者 加入者代表委員候補者



岩崎 俊
いわさき たかし
(NTTコム退職者)



山田 忍
やまだ しのぶ
(NTT西日本所属)

(1ページより)

れた会社側管理者達(年金受給資格のないものにも)に拍手をさせて、説明会を強引に終えてしまった。

これは正に意見を聞かない、言わせない常套手段、猿芝居とは言わないが、もっと質問など不明な点があれば、丁寧に聞いて会社の考え方を理解させる努力が余りにも欠けていると言わざるを得ない。何処かの株主総会・労組大会とそっくりの、シャンシャン会場模様と同じであった。

始めから質問疑問の時間を取って、もっと会社のはっきりした資金の運用面など、理解させる姿勢がなかったといっても過言でない。茶番劇とも言いたくないが、年金生活を何とか補い、安心して生活出来る制度・定年制導入の変わりに入れた制度、そのような趣旨が謳われて、生涯変わりつつあるNTTであっても、会社を誇りに思って生きていこうとする現社員は無論、B退職者たちを軽んじ、弱者を我慢させていく方法は、将来に禍根を残すどころか、会社の信用すら落としかねない、ネームバリューやプライド等全く考えない一方的な見直し 改悪ではないだろうか。

大都市神戸で一度だけでこと足れりとしている会社の姿勢は、一部上場の世界の名だたるNTTのやることなのか?

公的年金が社会・政治問題になっている今こそ、大きな会社の企業年金の改悪を改めさせ、数年ぐらいの期間で大いに議論しながら受給者が納得できる最大公約数の改正案を創っていただきたい。

ただ蛇足ながら、スウェーデン・フランス・ドイツ等とあまりにも大いなる差がある社会保障責任政府国を別にしても、「……日本の国民負担比率(対国民所得比)はアメリカとほぼ同じ36.1%の最低保障責任政府であるが、そのアメリカとの個人所得税の国民負担率が、半分にも達しない6.1%にすぎないのは、先進国では異様である。[月間世界3月号/政府は生活保障責任を明確にせよ・神野直彦氏より]という指摘があります。

そんな我々の国情から考えると、少しでも企業年金給付減額をせず個人所得を確保して、私達の生活を維持向上させる方法を考えていく……「人間企業」と唱えたNTTであるなら、今は下げさせない、「給付水準維持」を守りなさいと、勇気を持って叫びたい気持ちでいっぱいです。

(匿名希望・悩める年金生活者より)

この国に生まれてよかった?! 第9回被災地メーデー

9回目を迎えた「被災地メーデー」がJR兵庫駅南のキャナルタウンで3500人の働く仲間の手によって行われました。

あの大震災の直後、街のあちこちで弱いものいじめが起きました。「被災地メーデー」は、「理不尽な解雇や労働条件の大幅な低下と力を合わせて闘おう」と瓦礫の町で行われたのが始まりです。

今年のスローガンは「この国に生まれてよかった?!」と差迫る平和と命が脅かされようとしている世情に対してみんなで考え行動しようというものでした。

私たち西日本NTT関連労組も先輩格の労働者に混じり模擬店を出し、宇和島特産・産地直送の「じゃこてん」を参加者に味わっていただきました。準備した「じゃこてん」を完売した上に我が組合の存在がアピール出来たことに私達は参加の意義を見出した次第です。



対西本社会体交渉記録

2004.5.17 (文責は当労組)

1. 徳島支部2役の広域配転について

組) 吉川委員長、兼廣書記長の配転の根拠は。

会) 満了型を選択してN T T本体への雇用となった時スキル転換が必要。大規模市場への配転となっている。それで、兵庫支店となりました。

組) 本人に意向打診は無いが、通告であったのか。

会) 準備も必要であるという事はあるが事前に話す事はない。愛媛支店の野中課長が先週に決まる前段で話すようにとはなっていた。困る事がある等の触れ合いはあったと考えている。

組) 小学生と中学生がいると話をして来たが。

会) 二人の子供がいるとの理由では無理と判断しています。

組) 考慮しますと受け止めていいのか。

会) 受け止めてもらっていいが、考慮する事と判断は別。

組) 本人の適正をどう判断したのか。

会) 二人の仕事を把握していないが、設備・共通の仕事をして来た人も大半はスキル転換をしていただく。兼廣さんについては従来の仕事を生かして訪問のスキルUPもしていただきたい。吉川さんについては、BフレッツのスキルUPをまずしていただきたい。

組) 満了型・非提出者・50歳未満も就業規則上まったく同様の扱いとなると発言して来たが、現在もその認識に違いはないか。

会) ないです。

組) 何ゆえ50歳未満の社員と異なった人事異動を行うのか。

会) 引き続きやろうと思えば「在籍出向」しかないが、同じ職場にはやらないと決めています。

組) 他の組合の異動はあるのか。

会) 大規模都市部では同じ支店内となり異動はこの時期あり得ない。

組) 広域配転は会社にとって有益なのか。

会) 西日本全体と満了型選択者を受け入れている所とは成果は一致していない。成果が上がっているかは把握していないので言えない。

組) 2年前からの満了型社員の広域配転によってどの様な成果が上がったのか。

会) 経費がかかる事もあるが当初の思惑とはちがう。Bフレッツは思ったように進んでいない。

組) 年間のかかる費用と考えるとメリットはあるのか。

会) N T T労組を除けば対立してきた問題です。

組) わかるような数字で説明してください。地元でやる方が成果が上がると思うが。費用対効果がどうなのか。

会) 釣合うように頑張ってもらえればいい。

2. 墓参休暇について

組) 取得率は。

会) 100人に1人ぐらいです。

組) あきらめてくださいと言う事なのか。取得率が少ないと言うのであれば、人間ドックを有休にしてもらいたい。その方が公平性と合理性がある。

会) 廃止の替わりはない。

組) 広域配転や取りにくい状況にしておいて廃止はおかしい。

会) 構造改革後労働条件が下げられてきた。昭和34年に制度が出来たが、週休の少ない時代。その後、休みが増えてきた。OS会社には無い制度。他企業ではないと聞いている。

組) なぜ、6月末で廃止なのか。

会) 7月以降は緒休暇があるので6月末となった。墓参そのものは必要ないとは考えていない。

組) 現実に必要がある以上残す制度である。取っていない人の分析はしているのか。

会) 分析はしていない。人間ドックの実態は調べます。

3. 企業年金について

組) 約6500億円の過去勤務債務のうち、会社はどれくらい負担したのか。

会) 毎年1000億円負担してきた。3年間で8000億の分の4000億を解消している。

組) 今後、どの様な方法で解消するのか。今後の計画についてはどうなのか。

会) 調べておきます。

組) 特別一時金の、法令で定める「割り増し率」とはいくらか。

会) 厚生労働省で毎年率を決めている。H16年度は2.29%ですが、これが使用されるかどうかかわからない。(以上、抜粋)

平和の火を燃やし続けよう!!

働くものの音楽祭に参加



5月8～9日に熊本で行われた日音協「第37回はたらくものの音楽祭」に参加しました。

祭典1日目は「サークルのひろば」で23のサークルが参加。引き続きチェコからゲストとしてクラリネット、バグパイプ、バイオリンのアンサンブルが出演しました。2日目は「大音楽会」で17の単産から発表がありました。

総評がなくなってから、残念なことに祭典は先細りの状態ですが、それでも会場は熱気につつまれており、祭典を続けてこられたのは、全国各地からかけつけた仲間の努力の賜物だと思います。

既存の大企業労組が文化闘争から離脱している中、参加すること自体が自分との闘いと言わざるを得ない状況です。そんな中だからこそ、年に1回でも仲間の顔を見ることはとても勇気づけられます。

発表は情勢を反映して、＜平和を！平和を！平和を世界に！＞のスローガンからも分かるように平和を求める歌声が多く、日教組は教え子を戦場におくるなという立場で演奏。広島音楽サークル協議会は、音楽ピール「ヒロシマから」を発表しているが、「広島」ではなく、ヒロシマにこだわり続けています。そんな思いを伝えるのが栗原貞子さんの「1度目は誤りでも2度目は裏切りだ」という言葉。勿論職場の闘いも歌っている団体も多いが、栗原さんの思いは広島音楽サークル協議会だけでなく、他の多くの団体からも聴くことができました。

まさに今、平和を脅かす全てのものに対峙する

時です。音楽を持って平和の狼煙を上げる時です。わがN関労からも人数は少ないが、西だけでなく東からも参加していることを報告しておきたい。そうしてやがて来る日にN関労として舞台上で活躍するように展望を持ちたい。(山下)

おふさいど

～そして神戸

みなし満了型で兵庫支店へ

2年前の構造改革で徳島支店の設備部が解散され、松山のネオメイト四国へ強制配転、今年50歳を迎え退職再雇用を選択せず、満了型も選択しなかったにもかかわらずネオメイトからNTT愛媛支店のソリューション営業へ腰掛配転、5月24日着任で兵庫支店のブロードバンド販売PTにきました。

会社は満了型のいやがらせに販売へ配属させ、遠隔地へ飛ばしていますが、それで会社としてどんな利益があるのでしょうか？私は伝送の仕事長い間してきて、そこで仕事をさせるほうがよっぽど会社の利益になると考えています。前任地のネオメイト四国のNW設備マネジメントでは後任に伝送の者がいないので大変困っており、今でも連絡が来ています。

販売のスキルはこれからポチポチとつけていきますが(？)、NTTで仕事をしている50歳のものを全て入れ替えるという構造改革に沿った人員流動は、仕事の上でも大きな支障をきたしています。四国ではネオやアクトへ退職再雇用された人がNTTへ出向して、同じ仕事をしている人もいます。もうこの制度を見直す時期だとみんな思っているのではないのでしょうか。

私は2年前から単身赴任をしており、3年目に入ります。金帰月来と、どこかの代議士のような生活ですが、家に帰るとほっとして何もする気が起きません。妻も働いていることもありますが、家族がどこで生活するかを決めるのはみんな個人が決めことです。

私の生活基盤はあくまで徳島であり、そこで家族も含め多くの人が私の帰りを待っていてくれます。一日も早く帰れるようにN関労の仲間とともに闘います。(吉川)